SONY

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-W80

本書では、Cyber-shotの楽しみかたを紹介しています。*「取扱説明書」*または*「サイバーショットステップアップガイド」*もあわせてお読みください。

3-094-994-**02** (1) JP

操作前のご注意

表示言語について

本機では、液晶画面に表示される言語は、日本語以外の設定に変更することはできません。

本機で使用できる"メモリースティック"（別売）

本機で使用するIC記録メディアは"メモリースティック デュオ"（"Memory Stick Duo"）です。"メモリースティック"のサイズには2種類あります。

"メモリースティック デュオ"：本機で使用可能です。

"メモリースティック"：本機では使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- "メモリースティック デュオ"について詳しくは、110ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター（別売）に入れると使用可能です。

メモリースティック デュオ アダプター

バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長時間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、112ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒、白、赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機の可動式レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

目次

基本操作

撮影時の機能を使う

再生時の機能を使う

設定を変更する

テレビで見る

パソコンで楽しむ

静止画をプリントする

困ったときは

その他

用語の解説/索引

撮影時の基礎知識

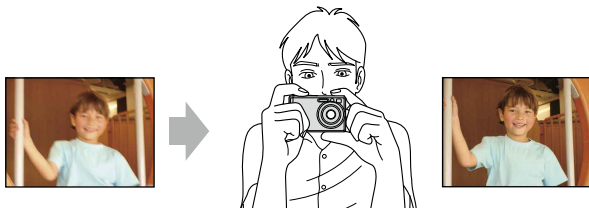
ここでは、サイバーショットを使いこなすための基礎について説明します。
本機に搭載された多彩な機能は、モードダイヤル（19ページ）や、ホーム画面（30ページ）、メニュー（32ページ）などで使うことができます。

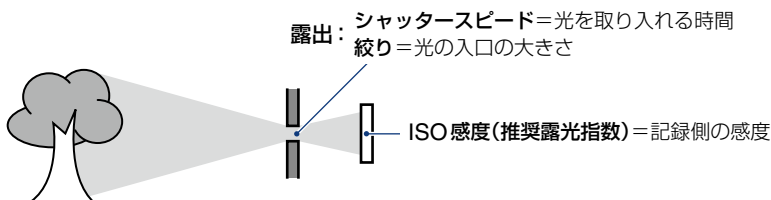
ピント　クリアな画像を撮るために

本機はシャッターを半押しすることで、ピントを自動で合わせます（オートフォーカス）。
シャッターを半押しする習慣をつけましょう。

ピントがうまく合わないときは：→［フォーカス］（39ページ）
ピントを合わせても画像がクリアでないときは、手ブレを起こしている場合があります：→次の［手ブレを起こさないためのヒント］をご覧ください。

手ブレを起こさないためのヒント

脇を締め、カメラをしっかり押さえてください。そばに木などがあれば寄りかかると安定します。セルフタイマーを2秒に設定して撮影したり、三脚を使用したりすることも効果的です。また、暗い場所ではフラッシュの使用もおすすめします。

露出　光の量を調整して好みの画像を撮る

露出と記録感度を調整することで、さまざまな仕上がりにすることができます。露出とはシャッターを切ったときに取り入れる光の量のことです。

露出オーバー
＝光が多すぎる
画面が白くなる

露出が適正

露出アンダー
＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

本機は露出が適正になるように自動調整します（オート撮影時）が、以下の機能でお好みの状態に調整できます。

露出補正：
自動調節した露出を補正
（17、38ページ）

測光モード：
露出を自動調整する場所を変更
（39ページ）

ISO感度（推奨露光指数）の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。ISO感度の調整について詳しくは、38ページをご覧ください。

ISO感度が高い
露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。
ただし、画像にざらつきが生じやすくなります。

ISO感度が低い
ざらつきの少ない画像を撮ることができます。
ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

色　光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。

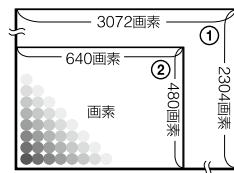
例：同じ色が光の影響で違って見えます

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

本機はこの変化を適正にするように自動調整します（オート撮影時）が、［ホワイトバランス］（41ページ）でお好みの色に調整できます。

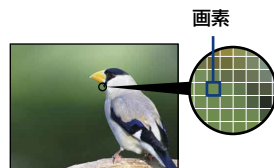
画質　「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指し、本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ：7M
3072画素×2304画素＝7077888画素

② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素=307200画素

用途にあわせてサイズを選ぶ（10ページ）

画素

画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

例：A3サイズまでの用紙に印刷する

画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

例：電子メールで送る

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

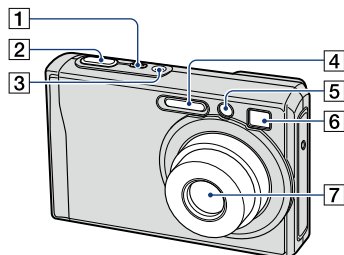
	静止画画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓	7M（3072 × 2304）	A3までの印刷に適したサイズで撮影します	少ない	精細
	3:2[1]（3072 × 2048）	縦横比3:2で撮影します		
	5M（2592 × 1944）	A4までの印刷に適したサイズで撮影します		
	3M（2048 × 1536）	L /2L判までの印刷に適したサイズで撮影します		
	VGA（640 × 480）	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影します	多い	粗い
	16:9[2]（1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビの縦横比で撮影します		

1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。
2) プリント時に両端が切れることがあります（103ページ）。

	動画画像サイズ	フレーム数/秒	用途の例
	640（ファイン）（640×480）	約30枚	テレビに適したサイズに高画質で撮影します
✓	640（スタンダード）（640×480）	約17枚	テレビに適したサイズに標準画質で撮影します
	320（320×240）	約8枚	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影します

- 画像サイズは大きいほど高精細になります。
- 1秒間に再生されるフレーム数は、多いほどなめらかな動きになります。

各部の名前

カッコ内の数字はページ数。

1 POWER(パワー)ボタン/POWER(パワー)ランプ

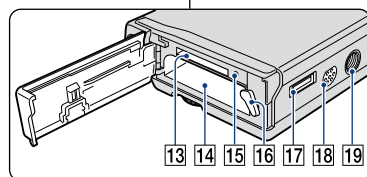
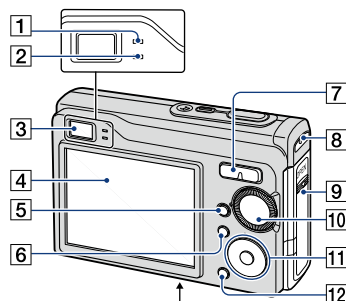
2 シャッターボタン(20)

3 マイク

4 フラッシュ (21)

5 AFイルミネーター (62)/セルフタイマーランプ(22)

6 ファインダー窓

7 レンズ

1 AE/AFロックランプ/セルフタイマーランプ(緑)(22)

2 フラッシュ充電ランプ/録画ランプ(オレンジ)

3 ファインダー

4 液晶画面(17)

5 ▶(再生)ボタン(26)

6 MENU(メニュー)ボタン(32)

7 撮影時:W/T(ズーム)ボタン(21)
再生時:Q/⊕(再生ズーム)ボタン/
▦(インデックス)ボタン(26、27)

8 ストラップ取り付け部

9 バッテリー/"メモリースティックデュオ"カバー

10 モードダイヤル(23)

11 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●（32）
メニューオフ時：DISP/⏲/🌷/⚡
（17、21、22）

12 HOME（ホーム）ボタン(30)

13 “メモリースティック デュオ”挿入口

14 バッテリー挿入口

15 アクセスランプ

16 取りはずしつまみ

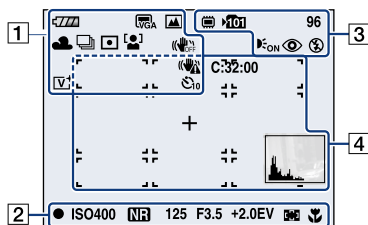
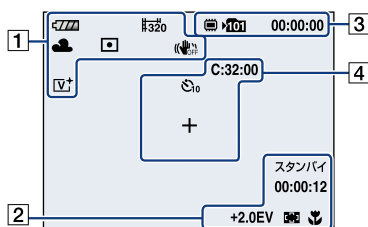
17 マルチ接続端子（底面）
下記の場合に使用します。
- パソコンとのUSB接続
- テレビなどとのAV接続
- プリンターとのPictBridge接続

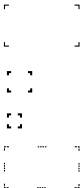
18 スピーカー

19 三脚用ネジ穴（底面）
- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

画面の表示

コントロールボタンの▲（DISP）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が切り換わります（17ページ）。
カッコ内の数字はページ数。

静止画撮影時

動画撮影時

1

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド（106）
7M 3:2 5M 3M VGA 16:9 FINE STD 320	画像サイズ（34）
ISO	モードダイヤル（シーンセレクション）（23）
P	モードダイヤル（プログラム）（19）
1 2 3 WB	ホワイトバランス（41）
BRK ±0.3 BRK ±0.7 BRK ±1.0	撮影モード（35）
	測光モード（39）
	顔検出（35）
ON OFF	手ブレ補正（43）
	手ブレ警告 • 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況を示しています。表示されていても撮影は可能ですが、手ブレ補正をオンにする、または光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚などで本機をしっかりと固定することをおすすめします（7）。
10 2	セルフタイマー （22）
W T ×1.3 S P	ズーム（21、63）
V N S BW	カラーモード（37）

2

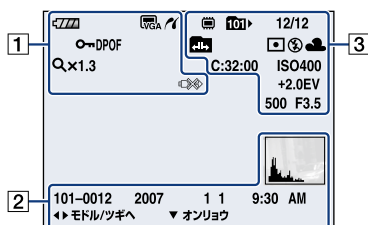
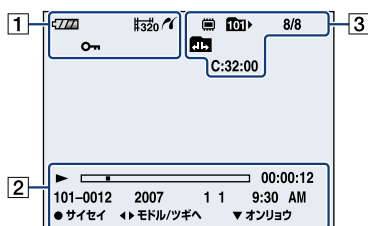
表示	意味
1.0m	フォーカスプリセット値(40)
●	AE/AFロック(20)
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
ISO400	ISO感度(38)
NR	NRスローシャッター • 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定以下になると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR(ノイズリダクション)スローシャッター機能といいます。
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	露出補正値(38)
00:00:12	記録時間
	AF測距枠表示(39)
	マクロ(22)

3

表示	意味
	記録メディア
101	記録フォルダ(55) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
96	撮影残枚数
00:00:00	記録残時間
ON	AFイルミネーター(62)
	赤目軽減(43)
SL	フラッシュモード(21)
	フラッシュ充電中

4

表示	意味
C:32:00	自己診断表示(106)
10 2	セルフタイマー(22)
+	スポット測光照準(39)
	AF測距枠(39)
	ヒストグラム(17)

静止画再生時

動画再生時

1

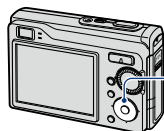
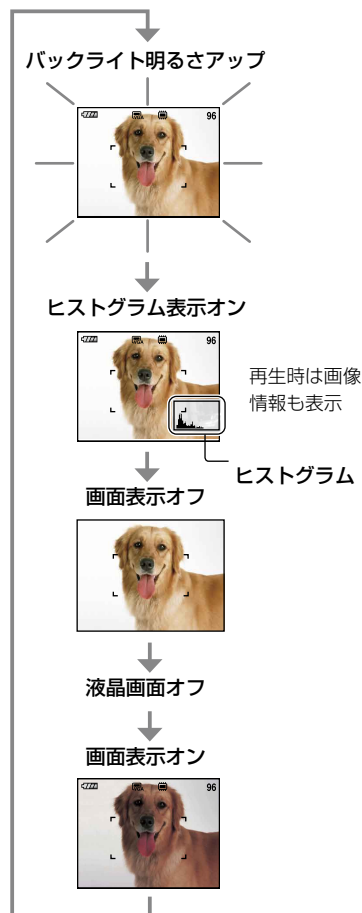
表示	意味
	バッテリー残量
	画像サイズ(34)
	プロテクト(49)
音量	音量(26)
DPOF	プリント予約マーク(93)
	PictBridge接続(91)
×1.3	ズーム(26)
	PictBridge接続中(92) • マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

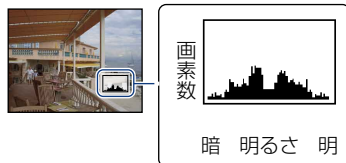
2

表示	意味
►	再生(26)
	再生バー
00:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号(52)
2007 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
● テイシ ● サイセイ	再生時の操作ガイド
◄►モドル/ツギヘ	前後の画像を表示
▼ オンリョウ	音量調節
	ヒストグラム(17) • 表示不能のときは⊗が表示されます。

3

表示	意味
	再生メディア
	再生フォルダ(52) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
8/8 12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
	フォルダ移動(52) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
	測光モード(39)
	フラッシュ
AWB	ホワイトバランス(41)
C:32:00	自己診断表示(106)
ISO400	ISO感度(38)
+2.0EV	露出補正値(38)
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値

画面表示を切り換える

▲(DISP)(画面表示切り換え)ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り換わります。

- 明るい屋外では、バックライト明るさアップにすると見やすくなります。ただし、バッテリーの消費は早くなります。
- テレビへ接続しているときは、ヒストグラム表示オン→画面表示オフ→画面表示オンになります(66ページ)。
- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  – 撮影時:メニュー表示時/動画時
  – 再生時:メニュー表示時/一覧表示時/再生ズーム時/静止画回転時/動画時
- 再生時は液晶画面オフにはできません。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
  – フラッシュ発光したとき
  – シャッタースピードが遅い、速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。
- 液晶画面オフのときは、デジタルズームは機能しません。(フラッシュモード)/(セルフタイマー)/(マクロ)を押すと液晶画面に画像が約2秒間表示されます。

ヒストグラムを使う

ヒストグラムは、明るさを示すグラフです。▲(DISP)(画面表示切り換え)ボタンを繰り返し押すと、画面内に表示されます。表示が右寄りなら明るめの画像、左寄りなら暗めの画像です。

- 静止画1枚再生時にもヒストグラムが表示されますが、露出補正はできません。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約31MB）が装備されています。本機に"メモリースティック デュオ"が入っていないときでも、画像を内蔵メモリーに記録できます。

• 画像サイズが[640（ファイン）]の動画は内蔵メモリーに記録できません。

"メモリースティック デュオ"が挿入されているとき

[撮影画像]："メモリースティック デュオ"に記録します。

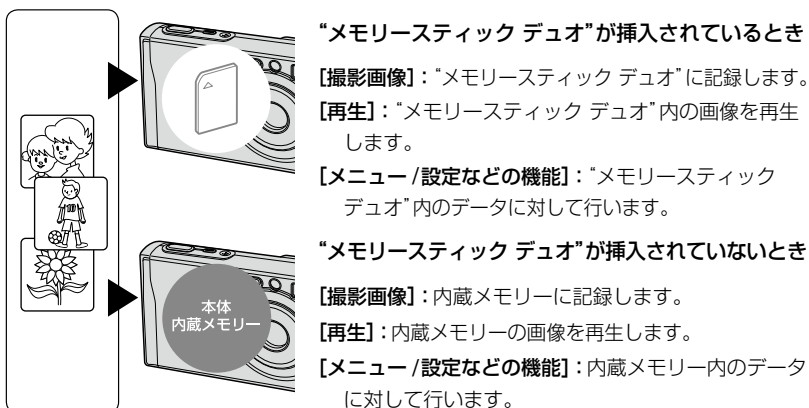
[再生]："メモリースティック デュオ"内の画像を再生します。

[メニュー/設定などの機能]："メモリースティック デュオ"内のデータに対して行います。

"メモリースティック デュオ"が挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー/設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

"メモリースティック デュオ"にバックアップを取るには

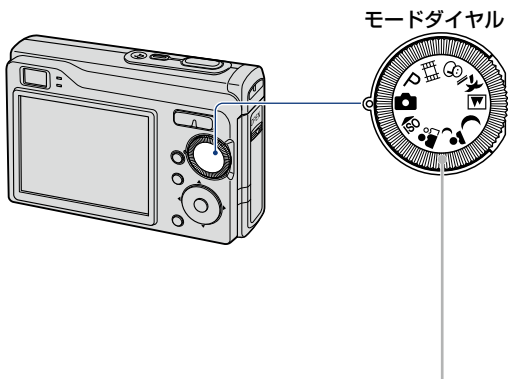
64MB以上の容量の"メモリースティック デュオ"を準備し、[コピー]（56ページ）の操作を行う。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機に"メモリースティック デュオ"を入れない状態で、72 ～ 75ページの操作を行う。

• "メモリースティック デュオ"に記録された画像データを、内蔵メモリーに移すことはできません。
• 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンにコピーできますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーにコピーすることはできません。

モードダイヤルを使いこなす

モードダイヤルを、操作したい機能に合わせて設定します。

：静止画オート撮影

自動設定で簡単に撮影できます。→20ページ

P ：**プログラムオート撮影**

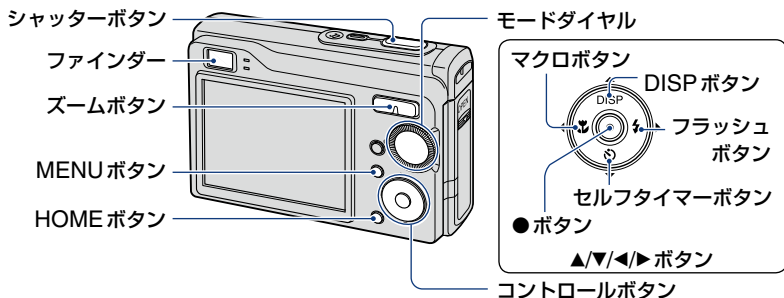
露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。（使用可能な機能について→33ページ）

ISO：**シーンセレクション**

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。
→23ページ

：動画撮影

音声付きで動画を撮影できます。→20ページ

簡単に撮る(オート撮影)

1 モードダイヤルでモードを選ぶ。

静止画(オート撮影)のとき： 📷にする。

動画のとき： 🎞にする。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

被写体をフレーム中央部におさめる

3 シャッターボタンで撮影する。

静止画(オート撮影)のとき：

① シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
緑の●(AE/AFロック表示)が点滅し、「ピピッ」という音がして点灯します。

② シャッターボタンを深く押し込む。

AE/AFロック表示

動画のとき：

シャッターボタンを深く押し込む。

録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は約50 cmです。それよりも近くで撮影するときは、「マクロ撮影」（22ページ）を利用してください。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。また、AF測距枠が消えます。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体：

– 被写体が遠くて暗い
– 被写体と背景のコントラストが弱い
– ガラス越しの被写体
– 高速で移動する被写体
– 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
– 点滅する被写体
– 逆光になっている被写体

W/T ズームする

Tボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻ります。

- レンズの倍率（3倍）を超えるとデジタルズームになります。
  ［デジタルズーム］の種類と画質について詳しくは、63ページをご覧ください。
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

フラッシュ（静止画のフラッシュモードを選ぶ）

コントロールボタンの▶（⚡）ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。

（表示なし）：フラッシュオート
光量不足または逆光と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）。

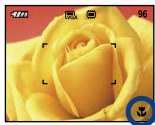
⚡：フラッシュ強制発光

⚡SL：スローシンクロ（強制発光）
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

⊘：フラッシュ発光禁止

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、⚡• が表示されます。

マクロ撮影(被写体に近接して撮る)

コントロールボタンの◀(マクロ)ボタンを押す。
押すごとに、設定が変わる。

(表示なし):マクロ切

マクロ:マクロ入(W側:約4 cm以上、T側:約35 cm以上)

マクロ撮影

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- マクロ撮影時は、ピント合わせが遅くなります。

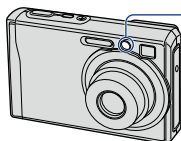
セルフタイマーを使う

コントロールボタンの▼(セルフタイマー)ボタンを押す。
押すごとに、設定が変わる。

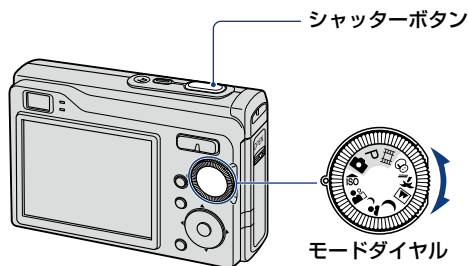
(表示なし):セルフタイマー解除

セルフタイマー10:セルフタイマーを10秒後に設定

セルフタイマー2:セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。

やめるには、もう一度▼(セルフタイマー)ボタンを押す。

- セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、シャッターを押したときのブレを防ぐことができるため、手ブレが起こりにくくなります。

場面に合わせて静止画を撮る
（シーンセレクション）

1 モードダイヤルでシーンセレクションの ISO/ / / / / / のいずれかを選ぶ。

- 撮影モードについては、次のページをご覧ください。

2 シャッターボタンで撮影する。

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

高感度モード
暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影できます。

ソフトスナップモード
人物や花などを、優しい雰囲気で撮影できます。

夜景＆人物モード*
夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影できます。

夜景モード*
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できます。

風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

ビーチモード
海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録します。

スノーモード
雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにします。

* （夜景＆人物モード）、（夜景モード）のときは、シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能について

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。
モードによっては使えない機能があります。

	マクロ	フラッシュモード	顔検出	連写/ブラケット	EV補正	ホワイトバランス	赤目軽減	手ブレ補正
ISO	●	(⚡)	–	–	●	●*	–	●
	●	●	●	●	●	–	●	●
	●	⚡SL	–	–	●	–	●	●
	–	(⚡)	–	–	●	–	–	●
	–	⚡/(⚡)	–	●	●	–	●	●
	●	⚡/(⚡)	–	●	●	–	●	●
	●	⚡/(⚡)	–	●	●	–	●	●

* [フラッシュ]は選べません。

画像を見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

• 電源が入っていない状態でも、▶(再生)ボタンを押すと電源が入り、再生モードになります。もう一度▶(再生)ボタンを押すと、撮影モードになります。

2 コントロールボタンの◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。

動画のとき： 中央の●で再生する。(再生を中止するにはもう一度●)
▶で早送り、◀で巻き戻しをする。(通常再生に戻るには●)
▼で音量画面になり、◀/▶で音量を調節する。

• 画像サイズ[320]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

再生ズーム(拡大して見るときは)

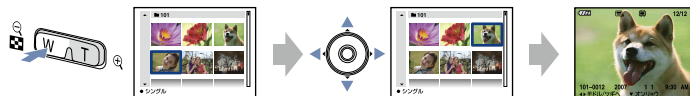
静止画を再生中にボタンを押すとズームする。ボタンで戻る。

ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶

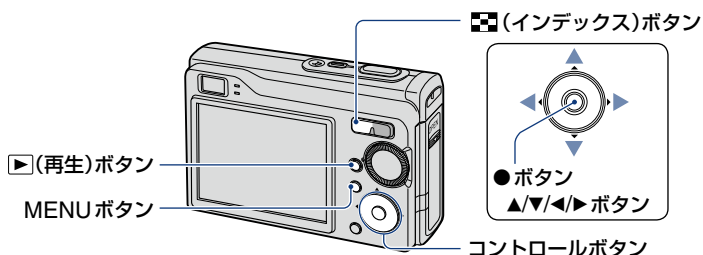
ズーム中止：●

• 拡大した画像を保存するには：[トリミング](49ページ)

一覧表示画面を使う

静止画再生中に（インデックス）ボタンを押し、一覧表示画面に切り換える。
コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。
中央の●を押すと1枚再生画面に戻ります。
"メモリースティック デュオ"使用時、複数のフォルダがあるときは◀でフォルダバーを選び、▲/▼で希望のフォルダを選ぶ。

- ホーム画面で［ ］（画像再生）から［ 一覧表示］を選んでも、一覧表示画面を表示できます。
- （インデックス）ボタンを繰り返し押すと、一覧表示画面が切り換わります。

基本操作

画像を削除する

1 ▶(再生)ボタンを押す。

2 1枚再生、または一覧表示中に、MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲で 🗑 (削除)を選ぶ。

4 ◀/▶で削除の方法を[この画像]、[画像選択]、[フォルダ内全て]の中から選び、中央の●を押す。

[この画像]を選んだとき

選んでいる画像を削除できます。

▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

[画像選択]を選んだとき

複数の画像を選んで削除できます。

① コントロールボタンで削除したい画像を選び、中央の●を押す。
　選択した画像に✔マークが付きます。

1枚再生時

一覧表示時

② MENUボタンを押す。

③ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

[フォルダ内全て]を選んだとき

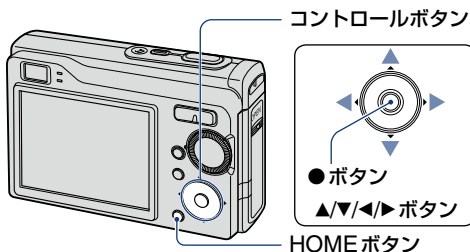
選択したフォルダ内のすべての画像が削除されます。

▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

- 一覧表示画面のとき、[画像選択]を選んだあとに、◀でフォルダバーに移動して、フォルダに✔マークを付けると、フォルダ内すべての画像を削除できます。

機能を使いこなす－ホーム/メニュー

ホーム画面の操作方法

ホーム画面とは、本機の機能の入り口になる基本の画面です。撮影モード/再生モード にかかわらずアクセス可能です。

1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

2 コントロールボタンの◀/▶で、設定するカテゴリーに合わせる。

3 ▲/▼で項目を選び、中央の●を押す。

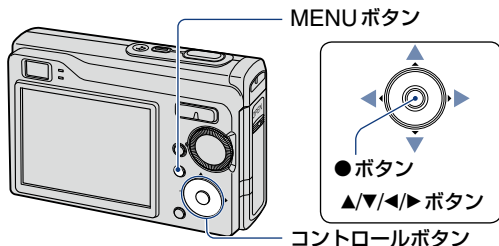
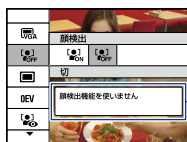
- PictBridge/USB接続中は、ホーム画面を表示できません。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

ホーム一覧

HOMEボタンを押すと下記項目が表示されます。
各項目の詳細は、ガイドに表示されます。

カテゴリー	項目
撮影*	撮影（19ページ）
画像再生	1枚再生（44ページ）
	一覧表示（44ページ）
	スライドショー（44ページ）
印刷 その他	印刷（90ページ）
	BGMツール（85ページ） BGMダウンロード　BGMフォーマット
メモリー管理	メモリーツール メモリースティックツール（55ページ） フォーマット　記録フォルダ作成 記録フォルダ変更　コピー
	内蔵メモリーツール（58ページ） フォーマット
設定	本体設定 本体設定1（59ページ） 操作音　機能ガイド 設定リセット
	本体設定2（60ページ） USB接続　コンポーネント出力 ビデオ信号出力
	撮影設定 撮影設定1（62ページ） AFイルミネーター　グリッドライン AFモード　デジタルズーム
	撮影設定2（64ページ） 縦横判別　オートレビュー
	時計設定（65ページ）
	表示言語**

*　モードダイヤルで選択している撮影モードになります。
** 本機では、液晶画面に表示される言語は、日本語以外の設定に変更することはできません。

メニュー画面の操作方法

1 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

機能ガイド
[機能ガイド]を[切]にすると、ガイド表示を消すことができます（59ページ）。

- メニューを表示できるのは撮影、再生時のみです。
- モードの違いにより、表示される項目が異なります。

2 コントロールボタンの▲/▼で、設定するメニュー項目を選ぶ。

- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、▲/▼を押し続けて表示する。

3 ◀/▶で、設定を選ぶ。

- 設定する項目がかくれている場合は、◀/▶を押し続けて表示する。
- 再生モードのときは、設定選択後に中央の●を押す。

4 MENUボタンを押し、メニュー表示を消す。

メニュー項目一覧

本機の状態によって、MENUボタンを押して表示されるメニュー項目は異なります。
撮影状態のときには、撮影に必要なメニューが表示され、再生状態のときには画像再生に必要なメニューが表示されます。
また、モードダイヤルの位置によっても使用できるメニュー項目が異なります。本機の画面には使用できる項目のみ表示されます。

（●：使用可能）

モードダイヤルの位置：	📷	P	シーンセレクション	🎞
撮影時に表示されるメニュー（34ページ）				
画像サイズ	●	●	●	●
顔検出	●	–	●*	–
撮影モード	●	●	●*	–
カラーモード	–	●	–	●
ISO	–	●	–	–
EV	●	●	●	●
測光モード	–	●	–	●
フォーカス	–	●	–	●
ホワイトバランス	–	●	●*	●
フラッシュレベル	–	●	–	–
赤目軽減	●	●	●*	–
手ブレ補正	–	●	●	●
SETUP	●	●	●	●

* シーンセレクションのモードによっては使用できません（25ページ）。

再生時に表示されるメニュー（47ページ）

🗑（削除）　　⧉（スライドショー）
（加工）　　（プロテクト）
DPOF　　（印刷）
（回転）　　（再生フォルダ選択）

撮影時のメニューを使う

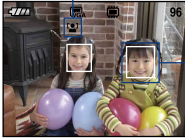
使えるモードを下記のように説明しています。
操作方法についての詳細は32ページをご覧ください。

グレー表示のモードでは設定できません。

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

画像サイズ：画像サイズの選択

静止画のとき

✓	7M	撮影画像のサイズを選びます。詳しくは9、10ページをご覧ください。
	3:2	
	5M	
	3M	
	VGA	
	16:9	

動画のとき

	FINE（ファイン）	撮影画像のサイズを選びます。詳しくは10ページをご覧ください。
✓	STD（スタンダード）	
	320	

顔検出：顔検出機能の設定

顔検出機能を使うか使わないかを設定します。

	(入)	カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ/露出/ホワイトバランス/赤目軽減発光の調整をします。
✓	(切)	顔検出機能を使わない。

- [顔検出]モードが[入]のとき、デジタルズームは使えません。
- シーンセレクションのときは、ソフトスナップを選択している場合のみ設定できます。この場合、初期値は[入]になります。
- 最大8人まで顔検出できます。ただし、ソフトスナップ撮影時は、2人まで検出します。
- 複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。緑色にならなくても、ピントが合っている被写体と距離が同じ被写体はピントが合っています。
- 状況によっては顔検出できない場合があります。

撮影モード：連写の設定

シャッターを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

✓	(通常撮影)	連写しない。
	(連写)	シャッターボタンを押し続けている間、最大100枚まで連写する。 • フラッシュは (発光禁止)になります。

	BRK±0.3	3通りの異なった露出で、静止画を3枚撮影する（ブラケット）。 値が大きいほど、露出のずれも大きくなります。 • 被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。 • モードダイヤルが 📷 のとき、ブラケット撮影はできません。 • フラッシュは ⚡（発光禁止）になります。
	BRK±0.7	
	BRK±1.0	

連写について

• セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。
• 撮影の間隔は約0.36秒です。画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。
• バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー / "メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいになると、連写は停止します。
• シーンセレクションのモードによっては連写できない場合があります（25ページ）。

ブラケットについて

• フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
• 露出補正をしているときは（38ページ）、補正した明るさを基準に露出が変わり撮影されます。
• 撮影の間隔は約0.4秒です。
• 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。
• シーンセレクションのモードによっては、ブラケット撮影できない場合があります（25ページ）。

操作方法は32ページ

カラーモード：色調の変更

画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影できます。

✓	（標準）	
	（ビビッド）	鮮やかで深い色合いにする。
	（ナチュラル）	落ちついた色合いにする。
	（セピア）	古い写真のような色合いにする。
	BW（モノトーン）	画像を白黒にする。

• 動画撮影時は、[標準]、[セピア]、[モノトーン]のみになります。

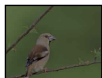
ISO：受光感度の調整

ISO感度小　ISO感度大

光に対する感度をISOという単位で設定します。数値が大きいほど高感度になります。

✓	ISO AUTO	暗い場所や高速で移動する被写体には大きい値を、高画質で撮るには小さい値を設定する。
	ISO 100	
	ISO 200	
	ISO 400	
	ISO 800	
	ISO 1600	
	ISO 3200	

- ISO感度について詳しくは、8ページをご覧ください。
- ISO感度大になるほどノイズ感が増します。
- シーンセレクションのとき、[ISO]は[AUTO]（オート）になります。
- 連写、ブラケット時は[ISO AUTO]、[ISO 100] ～ [ISO 400]までしか選べません。
- 明るい環境下で撮影すると、自動的に階調表現が増し、白とびが軽減されます（[ISO 100]以外のとき）。

EV：露出の補正

－方向　＋方向

露出を手動補正します。

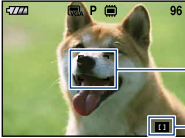
	－2.0EV	**－側**：画像が暗くなる。
✓	0EV	本機が自動設定した露出。
	＋2.0EV	**＋側**：画像が明るくなる。

- 露出について詳しくは、8ページをご覧ください。
- 1/3EV単位で露出値を調節できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

操作方法は32ページ

測光モード：測光部分の設定

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

✓	（マルチ）	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	（スポット）（静止画のみ）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。 • 逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利です。 スポット測光照準 被写体をここに合わせる

• 露出について詳しくは、8ページをご覧ください。
• スポット測光や中央重点測光の場合、測光する場所とフォーカス位置を合わせたいときは、［フォーカス］を［中央重点AF］にすることをおすすめします（39ページ）。

フォーカス：ピント合わせの設定

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

✓	（マルチAF）	画面全体を基準に、自動ピント合わせする。 • 被写体が中央にないときなどに便利です。 AF測距枠（静止画のみ） AF測距枠表示

撮影時の機能を使う

	（中央重点AF） （静止画のみ）	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。 • AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。 AF測距枠 AF測距枠表示
	（スポットAF） （静止画のみ）	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。 • AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。 AF測距枠 AF測距枠表示
	0.5 m	あらかじめ設定した距離にピントが合う。 （フォーカスプリセット） • 網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときに便利です。
	1.0 m	
	3.0 m	
	7.0 m	
	∞（無限遠）	

• AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のこと。
• 「フォーカスプリセット」の距離設定は多少の誤差を含みます。レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
• デジタルズームやAFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。

ピントが合わないときは

被写体がフレーム（画面）端にある場合や、[中央重点AF]または[スポットAF]設定の場合、フレーム端の被写体にピントが合わない場合があります。

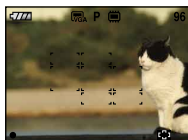
この場合、以下の方法を使います。

操作方法は32ページ

① 被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。

AF測距枠
AE/AFロック表示

シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

② AE/AFロック表示が点滅→点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

ホワイトバランス：色合いの調整

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

✔	WB AUTO（オート）	ホワイトバランスを自動調節する。
	☀（太陽光）	晴天の屋外や、夕景/夜景/ネオン/花火などに合わせる。
	☁（曇天）	曇り空や日陰に合わせる。

	(蛍光灯1)/ (蛍光灯2)/ (蛍光灯3)	蛍光灯1：白色蛍光灯の光に合わせる。 蛍光灯2：昼白色蛍光灯の光に合わせる。 蛍光灯3：昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱電球やスタジオなどのビデオライトに合わせる。
	WB (フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。 • 動画のときは選べません。

• ホワイトバランスについて詳しくは、9ページをご覧ください。
• ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
• [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[オート]になります。

フラッシュレベル：フラッシュの光量の設定

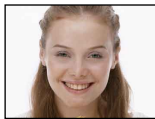
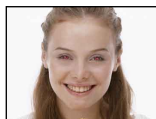
P ISO

フラッシュの発光量を調節します。

	(−)	発光量を減らす。
✓	±0 (標準)	
	+ (+)	発光量を増やす。

• フラッシュモードの切り換えについて詳しくは、21ページをご覧ください。

操作方法は32ページ

赤目軽減：赤目の抑制

フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを抑制するために、フラッシュが2回以上予備発光します。

✓	(オート)	顔検出機能を使用時のみ、必要に応じて赤目軽減を行います。
	(入)	常に赤目軽減発光をする。
	(切)	赤目抑制しない。

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。この場合は、撮影後に再生メニューの[加工]で赤目補正できます（49ページ）。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減を行いません。

手ブレ補正：手ブレ補正の種類の設定

手ブレ補正の種類を選びます。

✓	(撮影時)	シャッターボタンを半押しすると手ブレ補正が働く。
	(常時)	常に手ブレ補正が働く。遠くを拡大して撮影するときでも構図を安定させることができます。 • [撮影時]よりもバッテリーの消費が早くなります。
	(切)	使わない。

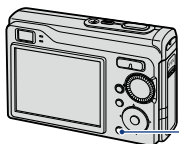
- オート撮影時は[手ブレ補正]は[撮影時]になります。
- 動画では[常時]、[切]のみになり、初期設定では[常時]になります。
- 下記の場合は、手ブレ補正しきれないことがあります。
  - 手ブレが大きすぎるとき
  - 夜景撮影時など、シャッタースピードが遅くなる場合

SETUP：撮影機能の設定

撮影機能に関する設定ができます。ホーム画面から入る[撮影設定]と同じです。31ページをご覧ください。

撮影時の機能を使う

ホーム画面から画像を再生する

ホーム画面から画像再生の方法を選ぶことができます。

① HOMEボタンを押す。

② コントロールボタンの◀/▶で、[▶](画像再生)に合わせる。

③ ▲/▼で希望の再生方法を選ぶ。

(1枚再生):画像の1枚再生

最後に撮った画像が表示される。▶(再生)ボタンを押したときと同じ働きをします(26ページ)。

(一覧表示):画像の一覧表示

選択されているフォルダの画像が一覧で表示されます。(インデックス)ボタンを押したときと同じ働きをします(27ページ)。

(スライドショー):連続再生

① ホーム画面から[スライドショー]を選ぶ。

② ▲/▼で[実行]を選んで、中央の●を押すとスライドショーが始まる。

スライドショーを一時停止するには

コントロールボタンの中央の●を押す。

再開したいときは、▲/▼で[続行]を選び、中央の●を押す。

• 画像は停止したところから再生されますが、BGMは曲の始めから再生されます。

画像を戻す/送るには

一時停止中に、コントロールボタンの◀/▶を押す。

BGMの音量を調節するには

コントロールボタンの▼で音量調節画面を表示させ、◀/▶で音量を調節する。

スライドショーを終了するには

一時停止中に、コントロールボタンの▲/▼で[終了]を選び、中央の●を押す。

設定を変更するには

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

再生画像 "メモリースティック デュオ"(別売)使用時のみ。		
✓	**フォルダ内**	選択中のフォルダ内の画像を順番に再生する。
	全て	すべての画像を順番に再生する。

エフェクト		
✓	**シンプル**	さまざまなシーンにフィットするシンプルなスライドショー。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。
	ノーマル	画像を一定間隔で送るベーシックなスライドショー。

- [シンプル]、[ノスタルジック]、[スタイリッシュ]、[アクティブ]設定時は、静止画のみ表示されます。
- [ノーマル]設定時は、[BGM]は[切]に固定されます。ただし、動画の音声は流れます。

BGM 音楽(BGM)は、それぞれのエフェクトに合わせて作られています。		
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	切	[エフェクト]が[ノーマル]のときの設定。BGMはありません。

間隔設定		
	3秒	画面切り換えの間隔。 ([エフェクト]が[ノーマル]のときのみ)
	5秒	
	10秒	
	30秒	
	1分	
✓	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。 [エフェクト]が[ノーマル]のとき以外は[オート]に固定されます。

リピート		
✓	入	順番どおりに、繰り返しスライドショーする。
	切	順番どおりに、1回スライドショーする。

BGMファイルを追加/入れ換えをするには

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルの転送は、パソコンにインストールした付属のソフトウェア「Music Transfer」を使用して、ホーム画面の [ ](印刷 その他)の[BGMツール]で行います。詳しくは、85、88ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録できます。(出荷時には、4曲分(Music1 ～ 4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長180秒までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット] (85ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

再生時のメニューを使う

操作方法は32ページ

ここでは、再生時にMENUボタンで操作する機能について説明しています。
操作方法についての詳細は、32ページをご覧ください。

（削除）：画像の削除

1枚再生画面、一覧表示画面から希望の画像を選んで削除することができます。
28ページをご覧ください。

（この画像）	選択している画像を削除します。
（画像選択）	複数の画像を選んで、削除します。
（フォルダ内全て）	選択しているフォルダ内すべての画像を削除します。

（スライドショー）：連続再生

この機能は、ホーム画面から選ぶ[スライドショー]と同じです。
44ページをご覧ください。

（加工）：撮影した画像の加工

撮影した画像に補正や特殊効果をかけ、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

（ソフトフォーカス）	中心点を決め、周囲をぼかして被写体を引き立たせます。 ① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で加工する中心点を決め、MENUボタンを押す。 ② ▲/▼で[レベル]を選び、中央の●を押す。 ▲/▼で加工するレベルを選び、再度中央の●を押す。 ③ W/Tボタンで加工する範囲を調整する。 ④ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。

操作方法は32ページ

（パートカラー）	中心点を決め、周囲を白黒にして被写体を引き立たせます。 ➡ ① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で加工する中心点を決め、MENUボタンを押す。 ② W/Tボタンで加工する範囲を調整する。 ③ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。
（魚眼）	中心点を決め、周囲を魚眼レンズ風にします。 ① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で加工する中心点を決め、MENUボタンを押す。 ② ▲/▼で[レベル]を選び、中央の●を押す。 ▲/▼で加工するレベルを選び、再度中央の●を押す。 ③ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。
（クロスフィルター）	光源を中心に光を放射し、きらびやかな印象にしあげます。 ① コントロールボタンの▲/▼で[レベル]を選び、中央の●を押す。 ▲/▼で加工するレベルを選び、再度中央の●を押す。 ② W/Tボタンで加工する長さを調整する。 ③ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。

(トリミング)	再生ズームした画像を記録します。 ① W/T ボタンでトリミングする範囲までズームする。 ② コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で位置を決め、MENU ボタンを押す。 ③ ▲/▼で画像サイズを選び、中央の●を押す。 ▲/▼で記録する画像サイズを選び、再度中央の●を押す。 ④ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。
(赤目補正)	フラッシュ撮影時に赤く映った目を、補正します。 コントロールボタンの▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。 • 画像によっては補正できない場合があります。

トリミングについて

- トリミングすると画質は劣化します。
- 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。

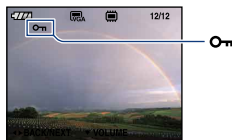
(プロテクト):誤消去の防止

画像を誤って消さないように保護(プロテクト)します。

(この画像)	選択している画像の削除不可の設定/解除をします。
(画像選択)	画像を選んで、削除不可の設定/解除をします。

画像を1枚プロテクトするには

① 1枚再生、または一覧表示中にプロテクトしたい画面を選ぶ。
② MENU ボタンを押す。
③ コントロールボタンの▲/▼で[プロテクト]を選び、◀/▶で[この画像]を選んで中央の●を押す。

画像がプロテクトされ、⊶マークが付く。

画像を選択してプロテクトするには

① 1枚再生、または一覧表示中にMENUボタンを押す。

② コントロールボタンの▲/▼で[プロテクト]を選び、◀/▶で[画像選択]を選んで中央の●を押す。

1枚再生画面のとき：

③ ◀/▶で、プロテクトしたい画像を表示して、中央の●を押す。
選択した画像に✔マークが付く。

④ ◀/▶で、続けてプロテクトしたい他の画像を表示して、中央の●を押す。

⑤ MENUボタンを押す。

⑥ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

一覧表示画面のとき：

③ ▲/▼/◀/▶で、プロテクトしたい画像を選んで、中央の●を押す。
選択した画像に✔マークが付く。

④ 他の画像もプロテクトしたいときは、手順③を繰り返す。

⑤ フォルダ内のすべての画像を選ぶには、◀でフォルダバーを選び、中央の●を押す。
選択したフォルダに✔マークが付く。

⑥ MENUボタンを押す。

⑦ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
選択した画像がプロテクトされ、⊶マークが付く。

プロテクトを解除するには

「画像を選択してプロテクトするには」の手順と同様に、プロテクトを解除したい画像を選び、実行する。
⊶マークが消えます。

- フォーマットするとプロテクトした画像も削除され、元に戻せません。
- プロテクトには時間がかかる場合があります。

DPOF ：プリント予約マーク

プリントしたい画像にプリント予約マーク（DPOF）を付けます。
93ページをご覧ください。

DPOF（この画像）	選択している画像に、DPOF規格のプリント予約マークを設定/解除します。
DPOF（画像選択）	画像を選んで、DPOF規格のプリント予約マークを設定/解除します。

（印刷）：接続プリンターからプリント

撮影した画像を印刷します（90ページ）。
この機能はホーム画面から選ぶ［ 印刷］と同じです。

（回転）：静止画の回転

静止画を左右に回転します。

① 回転させたい画像を表示する。
② MENUボタンを押し、メニューを表示する。
③ コントロールボタンの▲/▼で［回転］を選び、中央の●を押す。
④ ［↶ ↷］を選び、◀/▶で画像を回転させる。
⑤ ▲/▼で［実行］を選び、中央の●を押す。

- プロテクトされている画像、動画は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

（再生フォルダ選択）：再生フォルダの選択

再生したい画像の入っているフォルダを選びます。（"メモリースティック デュオ"使用時のみ）

① コントロールボタンの◀/▶で再生したい画像が入っているフォルダを選ぶ。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

再生フォルダ選択を中止するには

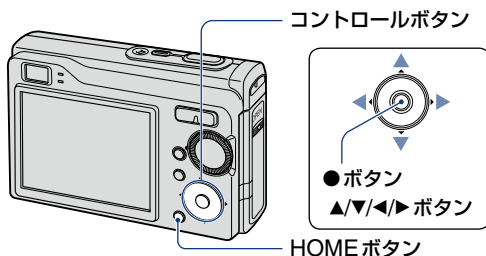
手順②で、[終了]を選び、中央の●を押す。

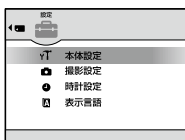
フォルダについて

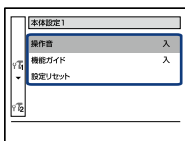
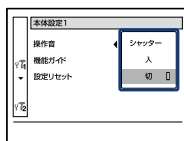
本機は撮影した画像を"メモリースティック デュオ"の特定のフォルダに記録します。このフォルダを変更したり、新規で作成したりできます。

- フォルダを作成するには、[記録フォルダ作成]（55ページ）をご覧ください。
- 記録先のフォルダを変更するには、[記録フォルダ変更]（56ページ）をご覧ください。
- "メモリースティック デュオ"に複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。
  - ：前のフォルダに移動可能
  - ：後ろのフォルダに移動可能
  - ：前/後のフォルダに移動可能

メモリー管理/設定画面の操作方法

ホーム画面の[ ]（メモリー管理）、[ ]（設定）で、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

2 コントロールボタンの◀/▶で、[ ]（メモリー管理）または[ ]（設定）に合わせる。

3 ▲/▼で項目を選び、中央の●を押す。

4 ▶を押し、▲/▼で項目を選び、中央の●を押す。

5 ▲/▼で設定項目を選び、中央の●を押して設定する。

設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は，それを選んで中央の●を押す。ない場合は、コントロールボタンの◀を押す。

- 選んだ設定は、電源を切ってからも保持されます。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。

メモリー管理

操作方法は53ページ

メモリーツール — メモリースティックツール

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合のみ表示されます。

フォーマット

“メモリースティック デュオ”をフォーマット(初期化)します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

• フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[フォーマット]を選び、中央の●を押す。
「メモリースティックのデータがすべて消去されます」というメッセージが表示される。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

フォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[記録フォルダ作成]を選び、中央の●を押す。
「記録フォルダを作成します」というメッセージが表示される。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
既存番号+1のフォルダが作成される。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録される。

記録フォルダ作成を中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

• フォルダを新規作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。
• フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成できます。

操作方法は53ページ

- 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。
- 一度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」（77ページ）もご覧ください。

記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[記録フォルダ変更]を選び、中央の●を押す。
記録フォルダ選択画面が表示される。

② ◀/▶でフォルダを選び、▲で[実行]を選んで、中央の●を押す。

記録フォルダ変更を中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像を別のフォルダには移動できません。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、"メモリースティック デュオ"に一括コピーします。

① 64MB以上の容量のある"メモリースティック デュオ"を本体に入れる。
② コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[コピー]を選び、中央の●を押す。
「内蔵メモリーのデータがすべてコピーされます」というメッセージが表示される。
③ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
コピーが実行される。

操作方法は53ページ

コピーを中止するには

手順③で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後に"メモリースティック デュオ"を本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください(58ページ)。
- データをコピーすると"メモリースティック デュオ"内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。
- データのコピーを行っても、DPOF(プリント予約)マークの設定はコピーされません。

操作方法は53ページ

メモリーツール — 内蔵メモリーツール

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合は表示されません。

フォーマット

内蔵メモリーの管理領域をフォーマット（初期化）します。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[フォーマット]を選び、中央の●を押す。
「内蔵メモリーのデータがすべて消去されます」というメッセージが表示される。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

フォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

操作方法は53ページ

本体設定 — 本体設定1

お買い上げ時の設定は✔で示しています。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✔	**入**	コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、ブザー/シャッター音が鳴る。
	切	音は鳴らない。

機能ガイド

本機を操作したときに、機能の説明が表示されます。

✔	**入**	機能ガイドを表示する。
	切	機能ガイドを表示しない。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、内蔵メモリーに記録されている画像は削除されません。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[設定リセット]を選び、中央の●を押す。
「全ての設定内容をリセットします」というメッセージが表示される。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
設定リセットが実行される。

設定リセットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

• 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

本体設定 — 本体設定2

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定します。

	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する(90ページ)。本機とパソコンを接続した場合はコピーウィザードが自動的に起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の画像をパソコンにコピーします。(Windows XP、Mac OS Xに対応)
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する(73ページ)。
✓	オート	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する(73、90ページ)。 • [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。 • [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。

コンポーネント出力

本機とテレビをHDケーブル(別売)を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します(67ページ)。

✓	HD(D3)	HD対応テレビとつなぐときに選ぶ。
	SD	HD非対応テレビとつなぐときに選ぶ。

操作方法は53ページ

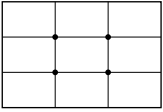
ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する（欧州など）。

撮影設定 — 撮影設定1

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が出て、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面にONが表示されます。

✓	**オート**	AFイルミネーターを使う。
	切	使わない。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約2.5 m（ズーム：W）まで/約2.0 m（ズーム：T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット（40ページ）のとき、AFイルミネーターは使えません。
- AFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- シーンセレクションが（夜景モード）、（風景モード）に設定されているときは、AFイルミネーターは発光しません。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。
- [顔検出]が[入]のとき、AFイルミネーターは使えません。

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

	入	グリッドラインを表示する。
✓	**切**	グリッドラインを表示しない。

- グリッドラインは記録されません。

操作方法は53ページ

AFモード

自動ピント合わせ(オートフォーカス)の種類を選びます。

✓	**シングル**	シャッターボタンを半押しすると自動ピント合わせする。動きのない被写体を撮影するときに便利。
	モニタリング	シャッターボタンを半押しする前から自動ピント合わせする。ピント合わせの時間を短くできる。 • [シングル]よりもバッテリーの消耗が早くなります。

• [顔検出]が[入]のとき、AFモード設定は無効になります。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(3倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

✓	**スマート(スマートズーム)(sQ)**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限します。[7M]、[3:2]のときは使用できません。 • スマートズームの最大倍率は、下表をご覧ください。
	プレシジョン(プレシジョンデジタルズーム)(PQ)	画像サイズの設定に関わらず、最大6倍までデジタルズームしますが、画像は劣化します。
	切	デジタルズームを使わない。

スマートズームの画像サイズと最大倍率

画像サイズ	最大倍率
5M	約3.6倍
3M	約4.5倍
VGA	約14倍
16:9	約4.8倍

• [顔検出]が[入]のとき、デジタルズームは使えません。
• 液晶画面オフのとき、デジタルズームは使えません。

操作方法は53ページ

撮影設定 — 撮影設定2

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

✓	**入**	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使わない。

• 本機の撮影角度によっては、画像の向きを正しく記録できない場合があります。画像の向きが正しく記録されなかった場合は、51ページの方法で回転することができます。

オートレビュー

静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示します。

✓	**入**	オートレビューを使う。
	切	使わない。

• シャッターボタンを半押しすると記録画像の表示が消え、すぐに次の撮影ができます。

操作方法は53ページ

時計設定

時計設定

時刻を再設定します。

① ホーム画面で[ ](設定)から[時計設定]を選ぶ。

② コントロールボタンの▲/▼で日付表示順を選び、中央の●で決定する。
③ ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して、中央の●で決定する。
④ [実行]を選び、中央の●で決定する。

時計設定を中止するには

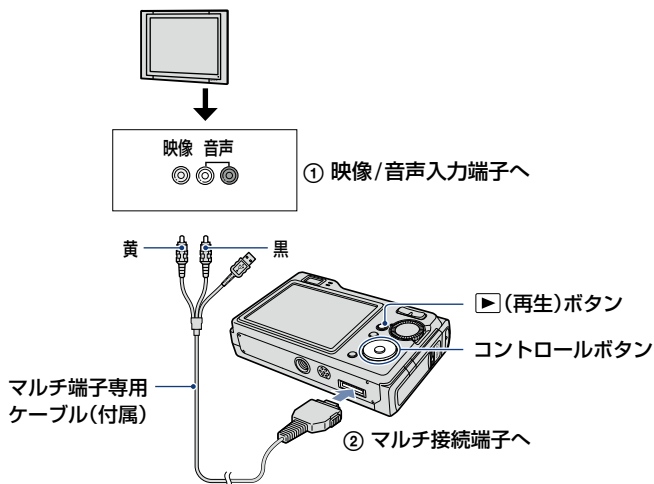
手順④で[キャンセル]を選び、中央の●を押す。

テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。
接続方法は、接続するテレビの種類によって異なります。

付属のマルチ端子専用ケーブルでテレビに接続して画像を楽しむ

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 本機とテレビを接続する。

- 本機を置くときは、画面を上にする。
- テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはマルチ端子専用ケーブルの音声プラグ(黒)を左音声端子(白)に接続する。

2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示される。

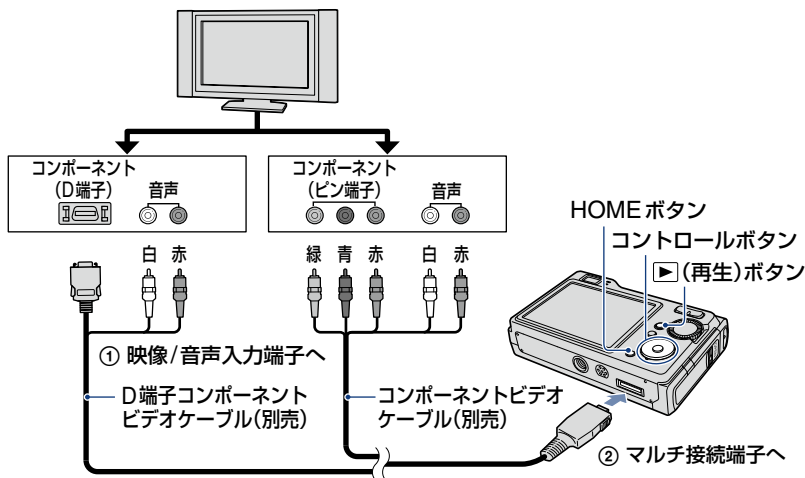
コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(61ページ)。

ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむ

HDケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像をお楽しみいただけます。

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 本機とテレビを接続する。

- 本機を置くときは、画面を上にする。
- コンポーネントビデオケーブル（別売）のテレビ側のケーブル（緑/青/赤）は、端子と同じ色です。

2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 ▶（再生）ボタンを押して、本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示される。

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- あらかじめ、ホーム画面で［🧰］（設定）を選び、［本体設定2］の［コンポーネント出力］を［HD（D3）］に設定してください（60ページ）。
- 海外で見るときは［ビデオ信号出力］の切り換えが必要な場合があります（61ページ）。
- HD出力時は、動画は再生できません。

Windowsパソコンでできること

Macintoshについては、「Macintoshをお使いのときは」をご覧ください(87ページ)。

- Windows Vistaをお使いの場合、名称や操作性が一部異なる場合があります。

まずはソフトウェア(付属)をインストールしよう!(70ページ)

パソコンに画像を取り込もう!(72ページ)

- 画像をパソコンで見る

「Picture Motion Browser」、「Music Transfer」で活躍の場を広げよう!(79、85ページ)

- パソコン内の画像を見る
- 撮影日ごとにまとめられた写真を見る
- 画像を編集する
- スライドショーのBGMを追加/入れ換える
- 撮影した画像の位置を地図上に表示する(別売のGPSユニット、およびインターネット接続環境が必要です)
- データディスクを作成する(書き込み型CDドライブまたはDVDドライブが必要です)
- 画像に日付を挿入して保存/印刷する

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込むときの推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP*/ Windows Vista*

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

USB端子: 標準装備

「Picture Motion Browser」、「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP*/ Windows Vista*

サウンドカード: 16 bitステレオサウンドカードおよびスピーカー

CPU/メモリ: Pentium III 500 MHz以上/RAM 128 MB以上(Pentium III 800 MHz以上/RAM 256 MB以上を推奨)

必要なソフトウェア: DirectX 9.0c以降

ハードディスク: インストール時に必要な容量: 約200 MB

ディスプレイ: 1024×768ドット以上、High Color(16 bitカラー)以上

* 64bit版は除きます。

- 本ソフトウェアはDirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になることがあります。

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB(USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート](お買い上げ時の設定)、[Mass Storage]、[PictBridge]の3種類があります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。[PictBridge]については、60ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

サイバーショットオフィシャルWEBサイトでは、パソコンとの接続方法やソフトウェアなどの最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

ソフトウェア(付属)をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア(付属)をインストールします。

- Windows 2000をお使いの場合は、インストールの前に本機をパソコンに接続しないでください。
- Windows 2000/XPをお使いの場合は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- ソフトウェア(付属)のインストールを行うと、USBドライバーのインストールも同時に行えます。

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、(マイコンピュータ)→(SONYPICTUTIL)の順にダブルクリックする。
- Windows Vistaでは、自動再生画面が表示される場合がありますが「Install.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールをしてください。

2 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

[地域設定]画面が表示される。

4 エリアと[国/地域]を選び、[次へ]をクリックする。

「SonyPicture UtilityのInstallShield Wizardへようこそ」と画面に表示されたら、[次へ]をクリックする。

使用許諾画面が表示される。
内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがあります。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

インストールすると、デスクトップ上にソニー製品カスタマー登録WEBサイトのショートカットが表示されます。

- カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
  http://www.sony.co.jp/di-regi/

インストールすると、デスクトップ上にSony マイページのショートカットが表示されます。

- マイページではお持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
  http://www.sony.co.jp/mypage

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
本機の画像をパソコンに取り込むには、下記の方法があります。

メモリースティックスロット付きパソコンの場合：

本機から"メモリースティック デュオ"を取りはずしてメモリースティック デュオ アダプターに入れ、パソコンに挿入して、画像データをコピーする。

- Windows 95/98/98 SecondEdition/NT/Meをお使いの場合でも、"メモリースティック デュオ"をメモリースティックスロットに挿入して、画像データをコピーできます。
- "メモリースティック PRO デュオ"が認識されない場合は、100ページをご覧ください。

メモリースティックスロットなしのパソコンの場合：

72～76ページ記載の操作1～4で、画像をパソコンにコピーできます。

- Windows 2000をお使いの場合は、次の手順に進む前に、ソフトウェア（付属）をインストールしてください。Windows XPの場合は必要ありません。
- 画像の例は"メモリースティック デュオ"の画像をパソコンにコピーするときのものです。

Windows 95/98/98 SecondEdition/NT/Meの場合：

本機ではこれらのOSに対応しておりません。
メモリースティックスロットなしのパソコンの場合は、市販のメモリースティックリーダーライターをお使いください。
内蔵メモリーに記録した画像を取り込むには、それらの画像を"メモリースティック デュオ"にコピーして取り込んでください。

パソコンとの接続方法や最新情報は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

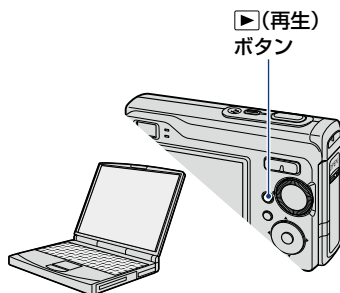
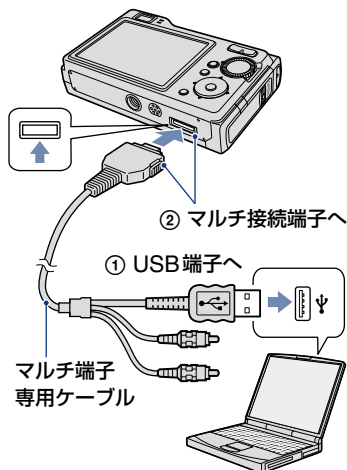
操作1：本機とパソコンを準備する

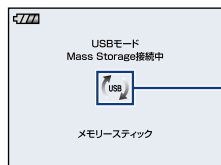
1 画像を記録した"メモリースティック デュオ"を本機に入れる。

- 内蔵メモリーの画像をコピーする場合は、手順1は不要です。

2 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、またはACアダプター（別売）とマルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル（別売）で本機とコンセントをつなぐ。

- 残量の少ないバッテリーを使用して画像をコピーすると、バッテリー切れのため、データを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

3 ▶（再生）ボタンを押し、パソコンの電源を入れる。

操作2：本機とパソコンをつなぐ

• Windows XP/Vistaの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。

本機の画面に「Mass Storage接続中」と表示される。

初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中は USB が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。USB が表示されたら操作できます。

• 画面に「USBモード Mass Storage」と表示されないときは、本機の[USB接続]を[Mass Storage]に設定してください（60ページ）。

• ソフトウェア（付属）をインストールしている場合は、[画像の取り込み]画面（80ページ）が表示されることがあります。この場合、「Picture Motion Browser」を使ってそのまま画像を取り込めます。

操作3-A：画像をパソコンに取り込む

XP

• Windows 2000使用時：
→「操作3-B：画像をパソコンに取り込む」（75ページ）

• Windows XP/Vista使用時で自動再生ウィザードが起動しないとき：
→「操作3-B：画像をパソコンに取り込む」（75ページ）

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 「操作2」で接続完了後、パソコンで自動再生ウィザードが起動するので、[コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用]→[OK]の順にクリック。

「スキャナとカメラウィザードの開始」画面が表示される。

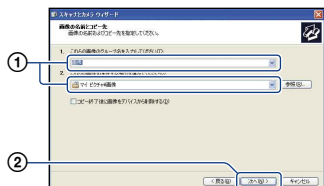
2 [次へ]をクリック。

本機の"メモリースティック デュオ"に記録されている画像が表示される。

- "メモリースティック デュオ"が入っていないときは、内蔵メモリーの画像が表示されます。

3 パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして ☐ にし、[次へ]をクリック。

「画像の名前とコピー先」画面が表示される。

4 画像の名前とコピー先を指定し、[次へ]をクリック。

画像のコピーを開始します。画像のコピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示される。

- ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

5 [作業を終了する]の ○ をクリックして ⊙ にし、[次へ]をクリック。

「スキャナとカメラウィザードの完了」画面が表示される。

6 [完了]をクリック。

ウィザード画面が閉じる。

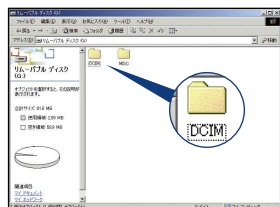
- 続けて画像をコピーしたい場合は、76ページの手順で、マルチ端子専用ケーブルを一度抜いて、「操作2：本機とパソコンをつなぐ」（73ページ）から行う。

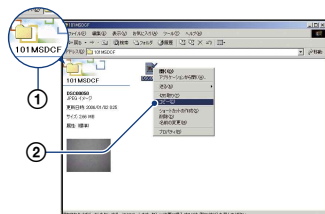
操作3-B：画像をパソコンに取り込む

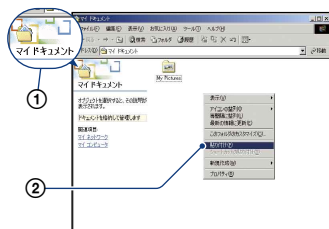
2000

- Windows XP使用時：→「操作3-A：画像をパソコンに取り込む」（73ページ）

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 **[マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。**

- リムーバブルディスクが表示されないときは、101ページをご覧ください。

2 **取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリック。**
次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。

- 画像ファイルの保存先については、77ページをご覧ください。

3 **[マイドキュメント]フォルダをダブルクリックして開く。**
次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。

「マイドキュメント」フォルダに画像がコピーされる。

- コピー先に同じファイル名の画像があるときは、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
  上書きすると、元のファイルデータは消えます。上書きしない場合は、ファイル名を希望の名称に変更してからコピーします。ただし、ファイル名を変更する（78ページ）と本機で再生できなくなる場合があります。

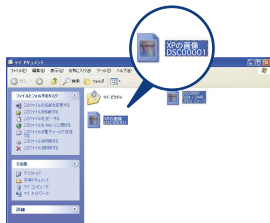
操作4：パソコンで画像を見る

「マイドキュメント」に保存された画像を見ます。

1 ［スタート］→［マイドキュメント］をクリック。

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示される。

- Windows XP以外の場合は、デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックする。

2 見たい画像ファイルをダブルクリック。

画像が表示される。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- “メモリースティック デュオ”を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック デュオ”を本機に入れる
- 本機の電源を切る

① タスクトレイの をダブルクリック。

ここをダブルクリック

② （USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリック。

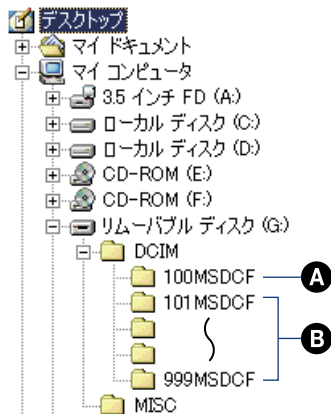
③ 取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリック。

④ ［OK］をクリック。
パソコンとの接続が切断されます。

- Windows XPをお使いの方は、手順④は不要です。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック デュオ”内のフォルダにまとめられています。

Windows XPの例

Ⓐ フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。

Ⓑ 本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。新しくフォルダ作成していない場合は、以下のとおりです。
- “メモリースティック デュオ”：「101MSDCF」のみ
- 内蔵メモリー：「101_SONY」のみ

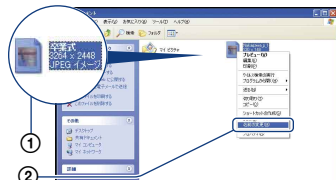
- 「100MSDCF」フォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- 「MISC」フォルダは、本機で記録/再生できません。
- 画像ファイル名は、下記のようになります。□□□□は0001 ～ 9999の半角数字、動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。
  - 静止画ファイル：DSC0□□□□.JPG
  - 動画ファイル：MOV0□□□□.MPG
  - 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル：MOV0□□□□.THM
- フォルダについては、52、55ページをご覧ください。

パソコン内の画像を本機で見る（“メモリースティック デュオ”使用）

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
パソコンにコピー後、“メモリースティック デュオ”から消去した画像をもう一度本機で見るには、パソコンから“メモリースティック デュオ”に画像をコピーしてから本機で再生します。

- 本機設定のファイル名を変更していない場合、手順1は必要ありません。
- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生を保証しません。
- フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから（55ページ）画像ファイルのコピーを行ってください。

1 画像ファイルを右クリックし、[名前の変更]をクリックする。ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する。

□□□□には、0001から9999までの半角数字を入れる。

- 上書きの警告が出た場合は、別の数字を入れ直してください。
- パソコンによっては、静止画の拡張子「JPG」、動画の拡張子「MPG」が表示されます。拡張子は変更しないでください。

2 下記の手順で、ファイルを“メモリースティック デュオ”内のフォルダにコピーする。

① 画像を右クリック→[コピー]をクリック。
② [マイコンピュータ]内の[リムーバブルディスク]または[SonyMemoryStick]をダブルクリック。
③ [DCIM]フォルダ内の[□□□MSDCF]フォルダを右クリックし、[貼り付け]をクリック。

- □□□には、100～999までの半角数字が入ります。

「Picture Motion Browser」(付属)で楽しむ

本機で撮影した静止画や動画をより いっそうご活用いただくために、「Picture Motion Browser」が収録されています。ここでは、「Picture Motion Browser」の概要と、基本的な利用方法を紹介します。

「Picture Motion Browser」のご紹介

「Picture Motion Browser」をご利用になると、次のことができます。

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧できます。
- 静止画の補正(赤目補正など)、印刷、メール送信、撮影日時の変更などの活用ができます。
- GPSユニット(別売)を利用すれば撮影した画像の位置情報を地図上に表示することができます。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 詳しいご利用方法については、ヘルプをご覧ください。

ヘルプを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[Picture Motion Browser]の順にクリックします。

「Picture Motion Browser」を起動/終了するには

起動する

デスクトップ上の [Picture Motion Browser]をダブルクリックする。
スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[Picture Motion Browser]の順にクリックする。

- 初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。この機能は、ソフトウェアの更新などのお知らせがある場合に通知を行います。後で設定し直すこともできます。

終了する

画面右上の[ ]ボタンをクリックする。

基本的な操作方法

本機の画像をパソコンに取り込み、表示する方法を説明します。

画像の取り込み

1 メディア監視ツール＊が起動していることを確認する。

タスクバーに（メディア監視ツール）アイコンが存在することを確認する。

＊「メディア監視ツール」は、画像が保存されている“メモリースティック”やカメラがパソコンに接続されると、自動的に検出して画像の取り込みを行うプログラムです。

- アイコンが存在しない場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ツール]→[メディア監視ツール]の順にクリックします。

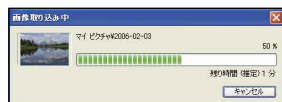
2 パソコンと本機をマルチ端子専用ケーブルで接続する。

本機が自動認識され、[画像の取り込み]画面が表示されます。

- メモリースティックスロットをご使用になる場合は、72ページをご覧ください。

- Widows XPの場合は、自動再生ウィザードが起動したら終了してください。

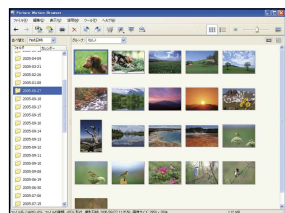
3 画像を取り込む。

[取り込み開始] ボタンを押すと、画像の取り込みが開始されます。

初期設定では、「マイ ピクチャ」に取り込み日を名前にしたフォルダが作成され、その中に画像が取り込まれます。

- 取り込みフォルダを変更したい場合は、84ページをご覧ください。

画像の閲覧

1 取り込んだ画像を確認する。

取り込みが完了すると、「Picture Motion Browser」が起動して、取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。

- 初期設定では、「閲覧フォルダ」として「マイ ピクチャ」フォルダが設定されています。
- サムネイル画像をダブルクリックすると1枚で表示されます。

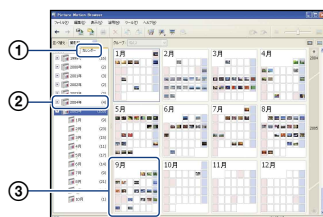
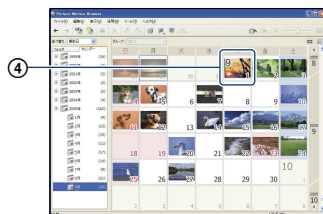
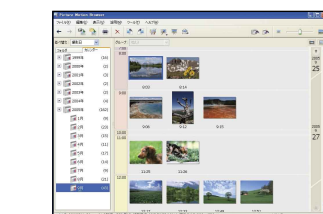
2 「閲覧フォルダ」の画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して見る。

① [カレンダー]タブをクリックする。
画像が撮影された年の一覧が表示されます。

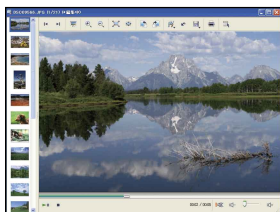
② 年の項目をクリックする。
その年に撮影された画像が、年単位で撮影日ごとにカレンダー表示されます。

③ 月表示するときは、見たい月の部分をクリックする。
その月に撮影されたサムネイル画像が表示されます。

④ 撮影時間ごとの画像を表示したいときは、見たい日にちの部分をクリックする。
その日に撮影されたサムネイル画像が、撮影時間ごとに表示されます。

[年表示画面]

[月表示画面]

[時間表示画面]

- 画面左の年、または月の項目をクリックすると、その年、またはその月の撮影画像の一覧画面が表示されます。

3 個々の画像を表示する

時間表示画面で、サムネイル画像をダブルクリックすると、別ウィンドウが起動し、その画像が一枚表示されます。

• ツールバーの[ ]ボタンから、表示されている画像を編集できます。

画像を全画面表示にする

[ ]ボタンを押すと、閲覧している画像が全画面のスライドショーで再生されます。

• スライドショーの再生/一時停止を行うには、画面左下の[ ]ボタンを押します。
• スライドショーを終了するには、画面左下の[×]ボタンを押します。

データディスクを作成する

画像をCDまたはDVDにデータディスクとして保存することができます。

• 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブが必要です。
• データディスク作成に使用できるディスクは以下の通りです。
  – CD-R/RW(12cm)
  – DVD±R/RW(12cm)
  – DVD+R DL(12cm)
  – DVD-R DL(12cm)

1 ディスクに保存したい画像を選択する。

• 連続している複数の画像を選ぶには、最初の画像をクリックし、「Shift」キーを押しながら最後の画像をクリックします。
• 連続していない複数の画像を選ぶには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。

2 ツールバーの ボタンをクリックする。

[データディスク作成]画面が表示されます。

3 [作成開始]をクリックする。

4 以降、画面の指示に従ってデータディスク作成する。

• [データディスク作成]画面に希望の画像をドラッグ&ドロップして追加することもできます。

フォルダ内のすべての画像を選択するには
[フォルダ]タブをクリックし、希望のフォルダアイコンを右クリックして[データディスク作成]を選択すると、フォルダ内のすべての画像を選択することができます。

マップビューで画像を地図上に表示して確認する

マップビューを使うと位置情報を持つ静止画の撮影位置を、地図上に表示することができます。

GPSユニット(別売)をご利用になると、簡単に撮影位置情報を取得して静止画に位置情報をつけることができます。

- マップビュー機能をご利用になるには、お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。

1 が表示されているサムネイルを選択する。

2 をクリックする。

マップビューのメイン画面が表示されます。

- 地図および航空写真はGoogleマップによって提供されています。

- マップビューを利用して静止画に地図上から位置情報を付けることができます。詳しくはマップビューのヘルプをご覧ください。

その他の機能

パソコンに保存してある画像を閲覧できるようにするには
保存してある画像があるフォルダを、「閲覧フォルダ」として登録します。

1 メイン画面の をクリックするか、[ファイル]メニューから[閲覧フォルダの登録]を選ぶ。

閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

2 閲覧する画像の入っているフォルダを選び、[登録]をクリックする。

3 [はい]をクリックする。

画像情報のデータベースへの登録が始まります。

- 取り込み元のフォルダ内にサブフォルダがある場合、サブフォルダの画像も登録されます。

「取り込み先フォルダ」を変更するには

「取り込み先フォルダ」は、取り込み設定画面から変更できます

---

1 「ファイル」メニューの[画像の取り込み設定]→[画像の取り込み先]を選ぶ。

画像の取り込み先画面が表示されます。

---

2 画像の取り込み先を選ぶ。

- [取り込み先フォルダ]は、[閲覧フォルダ]として登録されているフォルダの中から指定できます。

画像の登録情報を最新にするには

[ツール]メニューから[データベースを最新の情報に更新]を選択すると更新されます。

- データベースの更新には、時間がかかる場合があります。
- 「閲覧フォルダ」にある、画像やフォルダの名称を変えると、「Picture Motion Browser」で表示できなくなります。その場合は、データベースの更新を行ってください。

日付を挿入して保存するには

1 画像をダブルクリックし、1枚表示にする。
2 [ ]ボタンをクリックして[日付挿入]を選ぶ。
3 位置や色などを選び、[OK]をクリックする。
4 [ ]ボタンをクリックして保存する。

日付を挿入して印刷するには

1 印刷したい画像を選択する。
2 ツールバーの[ ]ボタンをクリックする。
3 印刷オプションから[日付印刷]にチェックを入れる。
4 [印刷]をクリックする。

「Picture Motion Browser」をアンインストールするには

1 [スタート]→[コントロールパネル]（Windows 2000では[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]）より[プログラムの追加と削除]をダブルクリック。
2 [Sony Picture Utility]を選択し、[削除]（Windows 2000では[変更と削除]）をクリックしてアンインストールを実行する。

「Music Transfer」(付属)を使う

CD-ROM(付属)に収録されている「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ換えをする

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

1 HOMEボタンを押して、ホーム画面を表示する。

2 コントロールボタンの◀/▶で[]（印刷 その他）を選び、▲/▼で[BGMツール]を選んで中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で[BGMダウンロード]を選び、中央の●を押す。

「PCと接続してください」というメッセージが表示される。

4 本機とパソコンをUSB接続する。

5 「Music Transfer」を起動する。

6 画面の操作手順に従って、BGMファイルの追加/入れ換えを行う。

- 出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは、
  ① 手順3で[BGMフォーマット]を行う。
  ②「Music Transfer」で「すべて初期の曲に戻す」を実行する。
  本機の曲がすべてお買い上げ時に設定されていた曲に戻り、[スライドショー]の[BGM]は[切]になる。
  ③[スライドショー]の[エフェクト]に適したBGMを選ぶ(45ページ)。
  [設定リセット](59ページ)をしてもお買い上げ時のBGM設定に戻すことができますが、同時に他の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「Music Transfer」の詳しい使いかたについては、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

i-Jump エンジン(付属)を使う

i-Jump サービスは、本機で撮影した画像をパソコンや携帯電話に簡単に送信し、閲覧できるサービスです。
i-Jump エンジンを使って、携帯電話やパソコンに画像を送信します。

i-Jump エンジンを起動するには

1 **「Picture Motion Browser」で送りたい画像を選ぶ。**

2 **メニューの「活用」→「外部プログラムから開く」→「i-Jump エンジン」の順に選ぶ。**

i-Jump エンジンが起動します。

- i-Jump エンジンの操作について詳しくは、i-Jump エンジンのヘルプをご覧ください。

i-Jump サービスのご利用には、カスタマー登録が必要です。
詳しくは、i-Jump サービスホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/i-Jump/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshに画像を取り込むことができます。

- 「Picture Motion Browser」は、Macintoshには対応していません。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込む時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）： Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.1 ～ v10.4）

USB端子： 標準装備

「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）： Mac OS X（v10.3～v10.4）

CPU： iMac、eMac、iBook、PowerBook、Power Mac G3/G4/G5シリーズ、Mac mini

メモリ： 64 MB以上（128 MB以上を推奨）

ハードディスク： インストール時に必要な容量：約250 MB

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（high-speed転送）が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには［オート］（お買い上げ時の設定）、［Mass Storage］、［PictBridge］の3種類があります。ここでは［オート］および［Mass Storage］での使いかたを説明します。［PictBridge］については、60ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

画像を取り込んで見る

1 本機とMacintoshを準備する。

「操作1：本機とパソコンを準備する」（72ページ）と同じ準備をします。

2 マルチ端子専用ケーブルで接続する。

「操作2：本機とパソコンをつなぐ」（73ページ）と同じ操作で接続します。

3 画像ファイルをMacintoshにコピーする。

① ［デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン］→［DCIM］→［取り込みたい画像の入ったフォルダ］の順にダブルクリック。

② 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップ。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

- 画像ファイルの保存先とファイル名については、77ページをご覧ください。

4 Macintoshで画像を見る。

［ハードディスクアイコン］→［画像ファイル］の順にダブルクリックすると画像が開く。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- “メモリースティック デュオ”を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック デュオ”を本機に入れる
- 本機の電源を切る

“メモリースティック デュオ”またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップする。

パソコンとの接続が切断されます。

「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ換えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

「Music Transfer」をインストールするには

- インストール前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするにはコンピューターの管理者権限が必要です。

① Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる。

② (SONYPICTUTIL)をダブルクリック。

③ ［Mac］フォルダの中の［MusicTransfer.pkg］をダブルクリックする。
インストールが始まる。

BGMファイルの追加/入れ換えをするには

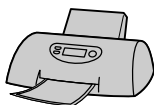
85ページの「Music Transferを使ってBGMの追加/入れ換えをする」をご覧ください。

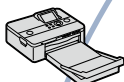
テクニカルサポート

その他のサポート情報や、製品に関するお問い合わせは、こちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

静止画をプリントするには

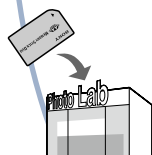
[16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。あらかじめご確認ください(103ページ)。

ダイレクトプリントする(PictBridge対応プリンター使用)(90ページ)

PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする("メモリースティック"対応プリンター使用)

"メモリースティック"対応プリンターでプリントします。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする

CD-ROM収録のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。
日付を入れてプリントできます(84ページ)。

お店でプリントする(93ページ)

プリントサービス店に、画像を撮影した"メモリースティック デュオ"を持参します。プリントしたい画像にあらかじめDPOF(プリント予約)マークを付けておくこともできます。

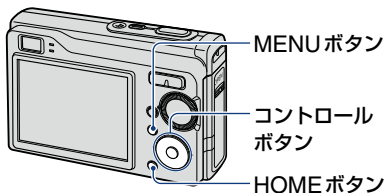
ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge

- 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。
- 動画はプリントできません。
- 本機の画面で が点滅したら（プリンターからのエラー通知）、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。[USB接続]の[オート]モードで認識されるプリンターに接続する場合は、操作1は不要です。

- プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したバッテリーのご使用をおすすめします。

1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

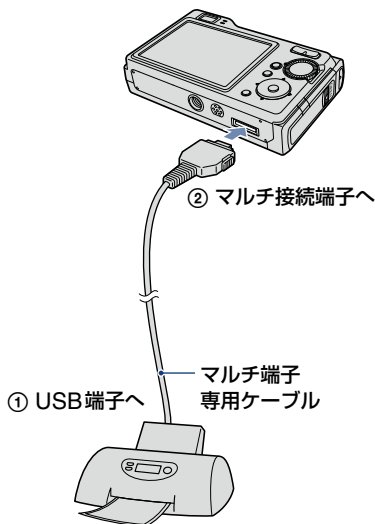
2 コントロールボタンの◀/▶で[ ]（設定）に合わせ、▲/▼で[本体設定]を選んで、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で[本体設定2]の[USB接続]を選び、中央の●を押す。

4 ▲/▼で[PictBridge]を選び、中央の●を押す。

USB接続が設定される。

操作2：本機とプリンターをつなぐ

1 本機とプリンターを接続する。

2 ▶(再生)ボタンを押し、本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面に
マークが表示される。

画像とプリントする画像を選ぶ画面が表示される。

操作3:プリント画像を選択する

コントロールボタンの▲/▼で[この画像]または[画像選択]を選び、中央の●を押す。

[この画像]を選んだとき

選んでいる画像を印刷できます。操作4へ進む。

[画像選択]を選んだとき

複数の画像を選んで印刷できます。

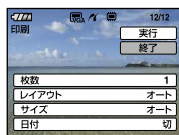
① ◀/▶で画像を選び、中央の●を押す。
選択した画像に✔マークが付く。

② MENUボタンを押す。

③ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

- 一覧表示中、[画像選択]を選んだあと、◀でフォルダバーに移動してフォルダに✔マークを付けると、フォルダ内の画像をすべて印刷することができます。

操作4:プリントする

1 ▲/▼/◀/▶で印刷設定する。

[枚数]

– [レイアウト]が[ふち無し1枚]または[ふち有り1枚]のとき:
画像のプリント枚数を設定。シングルプリントされます。

– [レイアウト]が[ふち無し1枚]または[ふち有り1枚]以外のとき:
選択した画像のインデックスプリント枚数を設定。手順1で[この画像]を選んだときは、同じ画像を1枚の用紙に並べる数になります。

- インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

[レイアウト]

1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。

[サイズ]

用紙サイズを選ぶ。

[日付]

日付を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

- [日付]で[年月日]を選んだ場合、65ページで選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

2 ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

画像がプリントされる。

- （PictBridge接続中）マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

他の画像をプリントするには

[画像選択]を選んで操作3、4の手順を行う。

操作5：プリントを終了する

操作2の画面に切り替わったことを確認し、マルチ端子専用ケーブルを本機からはずす。

お店でプリントする

画像を撮影した“メモリースティック デュオ”をプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、DPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。“メモリースティック デュオ”にコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

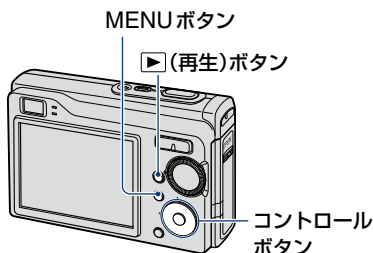
DPOF（ディーポフ）規格とは

Digital Print Order Formatの略です。DPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を“メモリースティック デュオ”上に指定することができます。

- DPOF対応プリンター、PictBridge対応プリンターでも、プリント予約マークを付けた画像をプリントできます。
- 動画はプリント予約マークが付けられません。

お店に“メモリースティック デュオ”を持参するときには

- 対応している“メモリースティック デュオ”の種類はお店にお問い合わせください。
- “メモリースティック デュオ”に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- メモリースティック デュオ アダプターも持参してください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

選択中の画像にプリント予約マークを付ける

1 (再生)ボタンを押す。

2 マークを付けたい画像を選ぶ。

3 MENUボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲/▼で[DPOF]を選び、◀/▶で[この画像]を選んで中央の●を押す。

画像にDPOF（プリント予約）マークが付く。

プリント予約マークを消すには

マークを消したい画像を選び、手順3で中央の●を押す。

画像を選んでプリント予約マークを付ける

1 １枚再生、または一覧表示中にMENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼で[DPOF]を選び、◀/▶で[画像選択]を選んで中央の●を押す。

3 コントロールボタンでマークを付けたい画像を選び、中央の●を押す。

選択した画像に✔マークが付く。

１枚再生時

一覧表示時

4 MENUボタンを押す。

5 ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

画面にDPOFマークが付く。

１枚再生時

一覧表示時

中止するには

手順5で[終了]を選び、中央の●を押す。

プリント予約マークを消すには

手順3でマークを消したい画像を選び、中央の●を押す。

フォルダ内のすべての画像にプリント予約マークを付けるには

一覧表示中に手順3で、◀でフォルダバーを選び、中央の●を押す。選択したフォルダとフォルダ内の画像に✔マークが付く。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 96～105ページの項目をチェックし、本機を点検する。
画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、106ページをご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（59ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる。

• 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

以下の項目をクリックすると、項目別の症状と原因/処置にジャンプします。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（112ページ）。新しいバッテリーと交換する。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す。
- バッテリーの寿命です（112ページ）。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（112ページ）。新しいバッテリーと交換する。

充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。

静止画/動画を撮る

電源を入れても画面がつかない。

- 画面をオンにする（17ページ）。

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”の空き容量を確認する。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（28ページ）。
  – “メモリースティック デュオ”を交換する。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを解除する（110ページ）。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、モードダイヤルを以外にする。

- 動画撮影時は、モードダイヤルを🎞にする。
- 動画撮影時、画像サイズが[640（ファイン）]になっているときは、下記いずれかを行う。
  - 画像サイズを[640（ファイン）]以外にする。
  - "メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画撮影はファイルサイズ約2GBで自動停止します。

画面に被写体が写らない。

- 再生モードになっている。▶（再生）ボタンを押して撮影モードにする（26ページ）。

手ブレ補正が効かない。

- 液晶画面に ✋OFF が表示されていると、手ブレ補正は効いていません。
- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている（14ページ）。故障ではありません。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。🌷（マクロ撮影）モードにし、最短撮影距離（W側約4 cm、T側約35 cm）より離して撮影する（22ページ）。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの ☽（夜景モード）または🏔（風景モード）が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- フォーカスプリセットになっているときは、オートフォーカスに戻す（39ページ）。
- 「ピントが合わないときは」（40ページ）をご覧ください。

ズームできない。

- 画像サイズが[7M]、[3:2]のときは、スマートズームができません。
- 動画撮影時はデジタルズームができません。
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。
- [顔検出]が[入]のときデジタルズームは使えません。

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュの設定が ⚡（フラッシュ発光禁止）になっている（21ページ）。
- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - 連写またはブラケット撮影しているとき（35ページ）
  - シーンセレクションの ISO（高感度モード）、☽（夜景モード）が選ばれているとき（25ページ）
  - 動画撮影時

- シーンセレクションの (風景モード)、 (ビーチモード)、 (スノーモード)が選ばれているときは、 (フラッシュ強制発光)にする(21ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- 空気中のホコリがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影(マクロ撮影)ができない。

- シーンセレクションの (夜景モード)、 (風景モード)が選ばれているときは、近接撮影(マクロ撮影)できません(25ページ)。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません(103ページ)。「Picture Motion Browser」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます(84ページ)。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。露出補正する(38ページ)。

液晶画面が明るすぎる/暗すぎる。

- LCDバックライトの明るさを調整する(17ページ)。

画像が暗い。

- 逆光になっています。測光モード選択(39ページ)または露出補正(38ページ)をする。
- 画面をオンにする(17ページ)。

画像が明るい。

- 露出補正する(38ページ)。

画像の色が正しくない。

- [カラーモード]を[標準]にする(37ページ)。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象で白や黒、赤、紫などの縦線が出ます。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにする（43ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影する。
- 室内を明るくして撮影する。
- メニュー画面の[赤目補正]で加工する（49ページ）。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（2ページ）。

ファインダーで見た画像と記録される画像の範囲がずれる。

- 被写体との距離が近いとき、視差（パララックス）により生じる現象で、故障ではありません。近い被写体のときは、画面で構図を確認してください。
- デジタルズーム時の画像は、ファインダーでは確認できません。

連写できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいです。不要な画像を削除する（28ページ）。
- バッテリーの残量が足りない。充電されたバッテリーを取り付ける。

画像を見る

再生できない。

- ▶（再生）ボタンを押す（26ページ）。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです（78ページ）。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する（76ページ）。

撮影日時が表示されない。

- ▲（DISP）（画面表示切り換え）ボタンでオフにしている（17ページ）。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認する（61ページ）。
- 接続が正しいか確認する（66ページ）。
- マルチ端子専用ケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずす（76ページ）。

画像を削除する/編集する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除する（50ページ）。
- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（110ページ）。

誤って消してしまった。

- 一度削除した画像は元に戻せません。画像にプロテクトをかける（49ページ）か、誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチを「LOCK」にする（110ページ）と誤消去を防げます。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

対応しているOSがわからない。

- 「パソコンの推奨環境」を確認する（69、87ページ）。

"メモリースティック"スロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、サイバーショットのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます（71、88ページ）。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください（73、87ページ）。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認する。
- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付ける。またはACアダプター（別売）を使用する（72ページ）。
- [USB接続]を[Mass Storage]にする（60ページ）。
- 接続には、マルチ端子専用ケーブル（付属）を使う（73ページ）。
- 一度パソコンと本機からマルチ端子専用ケーブルを抜いて再びしっかりと差し込む。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続する（73ページ）。

- ソフトウェア（付属）をインストールする（70ページ）。
- ソフトウェア（付属）をインストールする前に、マルチ端子専用ケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。正しく認識されなかったデバイスを削除してからUSBドライバーをインストールする（次の項目）。

本機とパソコンをUSB接続しても、パソコン画面に「リムーバブルディスク」が表示されない。

- 下記の手順をパソコンで行い、USBドライバーをインストールし直す。
  以下は、Windowsパソコンの手順です。
  1. ［マイコンピュータ］を右クリックしてメニューを表示し、［プロパティ］をクリック。
     「システムのプロパティ」画面が表示される。
  2. ［ハードウェア］タブ→［デバイスマネージャ］の順にクリック。
     「デバイスマネージャ」が表示される。
  3. ［Sony DSC］を右クリックし、［削除］→［OK］の順にクリック。
     デバイスが削除される。
  4. ソフトウェアをインストールする（70ページ）。
     USBドライバーもインストールされます。

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する（73ページ）。
- OSに対応した手順でコピーする（73、87ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影した場合、画像をパソコンへコピーできないことがあります。本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影する（55ページ）。

USB接続をしたときに「Picture Motion Browser」が自動起動しない。

- メディア監視ツールを起動する（80ページ）。
- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（73ページ）。

画像を再生できない。

- 「Picture Motion Browser」をお使いの場合は、ヘルプをご覧ください。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（72ページ）。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする（77ページ）。
- 正しい手順で操作する（78ページ）。

Picture Motion Browser

「Picture Motion Browser」で画像が正しく表示されない。

- 表示したい画像があるフォルダが「閲覧フォルダ」に登録されていることを確認する。フォルダが「閲覧フォルダ」に登録されていても画像が表示されない場合、データベースを更新してください（84ページ）。

「Picture Motion Browser」で取り込んだ画像が見つからない。

- 「マイピクチャ」フォルダをご覧ください。
- 初期設定を変更したい場合は、84ページの「「取り込み先フォルダ」を変更するには」をご覧いただき、「取り込み先フォルダ」をご確認ください。

「取り込み先フォルダ」を変更したい。

- 「取り込み先フォルダ」は、取り込みの設定画面から変更できます。取り込み先フォルダは「Picture Motion Browser」の「閲覧フォルダ」として登録されているフォルダから指定できます（84ページ）。

取り込んだ画像が、カレンダー上で撮影日と異なる日付で表示される。

- 本機の日付が正しく設定されていません。正しく日付を設定してください（65ページ）。

「 」が表示される。

- 画像やフォルダの名前を変更したり、削除したりなどしたため、画像の登録情報が古くなっています。[ツール]メニューから[データベースを最新の情報に更新]を選び、画像の登録情報を最新にしてください。

“メモリースティック デュオ”

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる。

フォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する（110ページ）。

誤ってフォーマットしてしまった。

- “メモリースティック デュオ”内のデータはすべて消去され、元に戻せません。誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチを「LOCK」にする（110ページ）と誤フォーマットを防げます。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機に“メモリースティック デュオ”が入っている。取りはずす。

内蔵メモリー内のデータを“メモリースティック デュオ”にコピーできない。

- “メモリースティック デュオ”の空き容量がない。空き容量を確認する（64MB以上推奨）。

“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- “メモリースティック デュオ”やパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「Picture Motion Browser」を使って印刷すると日付挿入ができます（84ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- [USB接続]を[PictBridge]にする(60ページ)。
- マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直す。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがマルチ端子専用ケーブルで正しく接続されているか確認する。
- プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しないときは、マルチ端子専用ケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直す。
- 動画はプリントできません。
- 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- (PictBridge接続中)マークが消える前に、マルチ端子専用ケーブルを抜いていないか確認する。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応してない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください(91ページ)。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度マルチ端子専用ケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する（91ページ）か、プリンターの用紙設定を変更する。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

レンズが出たまま動きが止まってしまった。

- 動かなくなったレンズを無理やり押し込まないでください。
- 充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

レンズがくもる。

- 結露している。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する。

電源を切っても、レンズが収納されない。

- バッテリーが消耗している。充電されたバッテリーを取り付ける。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 時刻を設定し直す（65ページ）。

日付/時刻を変更したい。

- 日付/時刻を設定し直す（65ページ）。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常。電源を入れ直す。

C:13:□□

- データが読めない/書けない。電源を入れ直すか"メモリースティック デュオ"を数回抜き差しする。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままである。または、フォーマットしていない"メモリースティック デュオ"を入れた。フォーマットする(55、58ページ)。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた。またはデータが壊れている。"メモリースティック デュオ"を交換する。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きている。設定リセット(59ページ)してから、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

(バッテリー残量警告アイコン)

- バッテリーの残量が少ない。すぐにバッテリーを充電する。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BG1以外のバッテリーを使っている。

システムエラー

- 電源を入れ直す。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直す。

メモリースティックを入れ直してください

- "メモリースティック デュオ"を入れ直す。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(110ページ)。
- "メモリースティック デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック デュオ"端子が汚れている。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(110ページ)。

アクセス禁止のメモリースティックです

- アクセス制限つきの"メモリースティック"を使っている。

メモリースティックフォーマットエラー
内蔵メモリーフォーマットエラー

- フォーマットし直す（55、58ページ）。

メモリースティックがロックされています

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する（110ページ）。

内蔵メモリーの残量がありません
メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する（28ページ）。

読み出し専用のメモリースティックです

- この"メモリースティック デュオ"への画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていない。
- フォルダ内に再生可能な画像が記録されていない。
- BGM付きスライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダを選択している。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する（55、56ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生した。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する（56ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する（50ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

無効な操作です

- 本機に対応していないファイルを再生しようとしている。
- 動画に対応していない機能を使おうとしている。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用したり、手ブレ補正をオンにする。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

640（ファイン）に対応していません

- ［640（ファイン）］の動画に対応しているのは"メモリースティック PRO デュオ"のみ。"メモリースティック PRO デュオ"を入れるか、画像サイズを［640（ファイン）］以外に設定する。

マクロは無効です

- マクロが使えない設定になっている（22、25ページ）。

フラッシュの操作は無効です

- フラッシュが使えない設定になっている（21、25ページ）。

制限枚数を超えています

- 選択できる画像は100枚までです。チェックマークをはずす。

電池残量不十分です

- 内蔵メモリーに記録した画像を"メモリースティック デュオ"にコピーするときは、充分に充電したバッテリーをお使いください。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っている。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換える。
- [BGMフォーマット]をしてから、正常なデータをダウンロードする。

BGMフォーマットエラー

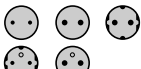
- BGMフォーマットし直す。

無効な操作です HD（D3）出力中

- 動画を再生しようとしている。
- [加工]をしようとしている。

テレビ出力中

- スライドショーで再生している。

赤目を検出できませんでした

- 画像によっては、補正できない場合があります。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー（付属）やACアダプター AC-LS5K（別売）は全世界（AC100V ～ 240V・50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- **電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。**

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック (マジックゲート非対応)	–
メモリースティック (マジックゲート対応)	–
メモリースティック デュオ (マジックゲート非対応)	○
メモリースティック デュオ (マジックゲート対応)	○*1*2
マジックゲート メモリースティック	–
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	–
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2*3

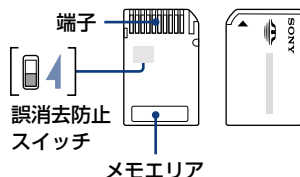
*1 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

*3 動画の[640（ファイン)]の記録ができます。

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

“メモリースティック デュオ”(別売)使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック デュオ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック デュオアダプター(別売)使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”(別売)使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は8GBまでです。

“メモリースティック マイクロ”(別売)使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください(最終ページ)。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（44ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

バッテリーチャージャーについて

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、NP-BGタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。また、指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- バッテリーチャージャーが汚れていると正常に充電できないことがあります。乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

用語の解説

インストール(68、70ページ)
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

オートパワーオフ機能
電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子(78ページ)
ファイルの種類を表す3〜4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素(9ページ)
画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ(9、34ページ)
画素数を横×縦で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム(63ページ)
レンズの焦点距離を変化させることにより撮影倍率を変化させる方式。レンズが移動することによって拡大・縮小するため、画質の劣化はない。

シャッタースピード(8ページ)
撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

スマートズーム(63ページ)
極めて画質劣化の少ない、画質を優先したデジタルズーム。光学ズームと同じような感覚で使える。ただし、最大ズーム倍率は設定している画像サイズによって異なる。

ドライバー(70ページ)
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのこと。

ノイズ(8ページ)
CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し(7ページ)
シャッターボタンを押し込まず、半分押した状態にしておくこと。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

ピント(7ページ)
被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。撮影距離を手動でも設定できる。

フォーマット(55、58ページ)
「初期化」ともいい、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ(52、55ページ)
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別(イベント別)・日付別に画像を分類するときに便利。

プレシジョンデジタルズーム(63ページ)
ズーム倍率を優先したデジタルズーム。画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能。画像サイズ、ズームポジションによっては、スマートズームより画質が劣化することがあるが、一般的なデジタルズームに比べて劣化の少ない画質が得られる。

ホワイトバランス(41ページ)
光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

“メモリースティック”(110ページ)
“メモリースティック”は小さくて軽いIC記録メディア。本機には、通常の“メモリースティック”より小型の“メモリースティック デュオ”を使用する。

有効画素数
CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出(8ページ)
絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

AE(20ページ)
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF(39ページ)
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF
「Design rule for Camera File system」の略で、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格。

DPOF(93ページ)
「Digital Print Order Format」の略。「ディーポフ」と読み、プリント予約したい写真を“メモリースティック デュオ”上に指定できる。

EV(38ページ)
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif
(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO感度（推奨露光指数）（38ページ）
「イソ」と読み、光を受ける撮像素子を含めた記録側の感度値。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG（78ページ）
「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

Mass Storage（60ページ）
"メモリースティック"が入ったデジタルカメラ自体を、外付けの記憶装置として認識し、USB接続したパソコンから操作可能なモード。

MPEG（78ページ）
「エムペグ」と読み、カラー動画像の圧縮方式の1つ。品質の良い画像や高い圧縮形式が得られる。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存する。

OS（69、87ページ）
「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge（90ページ）
「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

USB（69、87ページ）
「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA（10ページ）
「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。
「C Library」、「Expat」、「zlib」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または,GNULesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■困ったときは（サポートのご案内）

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関する
Q&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報
を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行い
ます。WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイト
をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/